

ルイーゼ

リーザ

ルイーゼ

リーザ！ なんなの、その顔は。ごめんね。パパから聞いたの。ルイーゼはユダヤ人だって。（両手を開き）「祖国イスラエルよ。我らの祖国は我らの心に！」祖国がなくても、地球に生きていられればいいわ。私と話してるところを女子同盟の誰かに見られたら、言われるわよ。

リーザ

私には分らないの。なぜユダヤ人が嫌われるのか。

ルイーゼ

私はとつくに嫌われてるけど。今日、パパの病院がドイツ人の診察をすることを禁止されたわ。分らない。何十年も病気のドイツ人を助けてきたのに。治った患者さんはみんなパパに感謝してた。この街の殆どの人はパパに感謝しているのに。

リーザ

その通りよ。きつと、みんなすぐに間違いに気づくわ。うちのパパもユダヤ人排斥運動なんて、間違った行為だって怒ってる。

ルイーゼ

見て。そこら中の建物に張り紙がしてあるでしょ。「ユダヤ人お断り」きのうアイスクリームソーダを買いに行ったお店にも、今日になると張ってあるのよ。

照明変化し、街の雑踏のSEは消える。ルイーゼは退場して、下手側の中割パネルだけが開く。舞台奥にシュタイナー先生の机と椅子。

シュタイナー先生が座っている。

リーザ

シュタイナー先生。質問してよろしいでしょうか？ どうしてユダヤ人は排斥しなければならいんでしょうか？

シュタイナー先生

一つの、優秀な種族の間に、別の下等な種族が混じると、それらが交わって、混血が生まれますね。するとどうなるでしょう？ 長い間にはみんな混血になって、優秀な民族の血が絶えてしまうのです。たとえば、（スタンド式の図解を開いて見せる）足の裏の形一つとっても、優れたアーリア人種と黒人とは、まったく機能的に差があります。黒人の足は扁平で、明らかに劣っていますね。人類の歴史において、神の姿に似せてつくられた人種は、我々アーリア人種だけなのです。古来より、優れた美しいアーリア人種に対して、毛むくじゃらでどす黒い肌をした劣等人種が、絶えず闘争を挑んで来ました。ユダヤ人のような劣等人種と交わることで人種が劣等化してしまうことは、我々の子孫に対して、取り返しのつかないあやまちなのです。

でも、優秀なユダヤ人も世の中にたくさんいると父から聞いています。

シュタイナー先生

誰です？

リーザ

マルクスやフロイト、アインシュタインもユダヤ人だと。

シュタイナー先生

あなたはマルクスやフロイト、アインシュタインを読んだことがあるのですか？

リーザ

いえ……。

シュタイナー先生

あなたのお父さんはマルクスの言っていることを信じるのですか？

リーザ

いえ……（共産主義者と言われる）そうは言って……。

シュタイナー先生

（くつて）そうでしょう。もし信じると言ったら監獄に住むことになり
ますよ。マルクスやフロイト、アインシュタインについては、党はまっ
たく認めていません。私は仕事から、彼らの本に接しましたが、人間に
害をもたらす悪魔のたわごとだと、はっきり分かりました。決して読ん
ではいけませんよ。・・・リーゼ。本当のことを教えましょう。ユダヤ
人の本当の狙いです。彼らは今、祖国を持つていません。彼らの野望は
ただ一つ。自分たちの祖国を持つことなのです。私たちが戦わなければ、
ドイツはイスラエルと呼ばれるユダヤ人国家になってしまうかもしれま
せん。そうになったら、ドイツ人はユダヤ人の奴隷となり、ドイツ民族の
文化は、永久に失われてしまうでしょう。（まるでヒトラーのように急
に恐ろしく声を張り上げて）そんなことにするものか絶対!!（必死で気
持ちを静め、おだやかに）いいですね。私たちは、その瀬戸際に生きて
いるのです。

上手側の中割パネルだけが開き、リーゼの家となる。オットーとア
ルベルト、リーゼ。リーゼは下手から上手に移動。同時に下手側
の中割パネルが閉まり、シュタイナー先生はその奥に消える。アル
ベルトとリーゼはコートを着て旅行用の鞆を持つ。

アルベルト

オットー

（オットーに）病院が没収された。党の研究施設に使うというわけだ。
家も取り上げられた。着の身着のまま、どうぞ出て行けと言うんだ。
ウルムに私の別荘がある。（アルベルトに別荘の鍵を渡し）使つてほし
い。ひとまず、そこで状況を見るんだ。

アルベルト

オットー

この間の選挙までは、私たちも立派なドイツ人のはずだった。
もちろんだとも。

アルベルト

私はドイツで生まれ育った。ここが生まれ故郷なんだ。ドイツ人の妻と
結婚し、リーゼが生まれた。身を粉にして働いて、病気のドイツ人を
救い続けてきたんだ。

オットー

これだけは理解してほしい、アルベルト。今は一時的な政治のヒステリ
ー状態なんだ。つまり、異常な状態だ。こんな状態はいつまでも続くも
んじゃない。ほんのちよつと前まで、あのヒトラーが演説をして、わけ
の分からんユダヤ人攻撃をしてる時、多くの聴衆はあざけり笑って馬鹿
にしていたじゃないか。あの聴衆は今もドイツのそこらじゅうにいるん
だ。心では間違っていると誰もが分かっているんだ。

アルベルト

私たちも、抗議のデモを行うべきだろうか？ ユダヤ人の集会を開いて、
ユダヤの星の看板を掲げて行進したら（どうなのだろう）？

オットー

（くつて強く）やめろ、そんな事は！（気まずい間。オットーも苦しい）
・・・刺激しない方がいいんだ。

アルベルト

（力弱く）アインシュタインが、アメリカへ逃げたそうだと。私たちも、
アメリカへ行くべきかな？ ユダヤ人らしく、放浪の旅へ。

オットー

君はこの国のアルベルト・ポラックじゃないか。大丈夫だ。ドイツを信

じて、いい国に戻すため、一緒に頑張つてほしい。

アルベルトは考え、うなづき、オットーと握手をする。照明変化。
上手側の中割パネルが閉まり、下手側の中割パネルが開く。椅子と
テーブル。椅子にパウラが腰掛けている。上手側の人物たちは中割
の奥に消えるが、オットーだけは妻に呼ばれてすぐ下手へ。

あなた。ちよつと話があるの。

どうしたんだ？

今日、大学から人が来て、あなたのような将来性のある学者が、ナチに
入党しないのはなぜかと聞かれたの。大学では、今年中にユダヤ人の教
授は全員解雇されるらしい。あなたは優秀なドイツ人だから、最高の待
遇を持つて迎えたいと言つてるの。

オットー

最高の待遇？

パウラ

2階級特進して、主任教授へ。

オットー

（唾を飲む。考えて、振り返り）君は、どう思う、パウラ。

パウラ

もし断れば、今の助教授の地位さえ危ないって。

ハンスが帰宅する。

ハンス

ただいま。（ナチス式敬礼）ハイル・ヒットラー。

両親

ハイル・ヒットラー。

ハンスはそのまま別の部屋へ退場。

パウラ

あの子・・・毎日どこから帰ってくるたび、少しずつ洗脳されて変わ
って行くわ。昔のあの子は、どこへ行つてしまったのか・・・。

オットー

それでもナチに入党すべきかね？

パウラ

家族が無事に生きるためには。

悩むオットー。音楽BGM「田園」スタート。照明変化。下手側の
中割も閉まり、舞台前だけとなる。中割前に牧草を運ぶルイーゼ。

ルイーゼ登場。籐のバスケット（かご）を持つ。

ルイーザ

ルイーゼ！

ルイーゼ

ルイーザ！ よく来られたわね！

ルイーザ

駅までクルマに乗せてもらったの。何してるの？

ルイーゼ

牛に食べさせる牧草を集めてんの。自給自足の生活をしなきゃならない
から。いっぱいしの牧童よ。

ルイーザ

（笑う）景色のいいところねえ。

ルイーゼ

最高よ。森の中には「ユダヤ人お断り」の張り紙は張つてないもの。お